

## 巻頭言

### 日本を元気にする『新しいプロジェクトの提言』を！

(特非)シビルNPO連携プラットフォーム 理事  
NPO 全国街道交流会議 代表理事  
(公益財団)日本道路交通情報センター 副理事長)

藤本 貴也



平成 7 年の財政危機宣言(武村正義大蔵大臣)以来、財政当局は公共事業バッシングに舵を切った。その一貫で、新しい骨太の社会資本整備を国の長期計画として位置付けてきた『全国総合開発計画』(第 4 次は昭和 62 年閣議決定)も、平成 10 年には『21 世紀のグランドデザイン』と名前も変え、投資額を示さなくなる等により新しいプロジェクトを主導する役割を事実上返上させた。爾来『30 年間、社会資本整備に関する新しいプロジェクトの提案はほとんど無く、30 年前に提案されたプロジェクトをその後の世代が食いつぶしてきた』(中村英夫東京都市大学名誉総長談)との指摘までされるに至っている。

ややもすれば多くのマスコミやそれに影響を受けた我々国民も、成熟した先進国においては、新しい骨太の社会資本整備は一昔前の農業のように時代遅れだと勘違いしているくらいがある。しかし欧米の多くのトップリーダーは、雇用の確保と国際競争力の向上のために大幅なインフラ投資が必要であることを機会あるごとに訴えており、アメリカの大統領予備選挙に名前が挙がった、ヒラリー・クリントン、バーニーサンダース、ドナルド・トランプも同様の発言をしている。公共事業への投資額をみても、我が国はこの 20 年間で約半分に減らしてきた中で、米英独仏等の欧米各国は 1.5~3 倍に増やしてきている。これらの事実を日本のマスコミはほとんど報道しないことから、多くの国民もこのような実態をあまり認識していない。

現に欧米諸国では今日においても、アルプス山脈を南北に貫く世界最長(約 57 km)の鉄道トンネル(ゴッタルトベース・トンネル)(スイス)、民活による世界一高い橋脚を有するミヨ-高架橋(フランス)、ライプツィヒの石炭の露天掘り跡地を活用した約 20 か所の広大な湖群(約 140 km<sup>2</sup>)の創出(旧東ドイツ)、シュツツガルトにおける鉄道の地下化と大規模な地下駅(ドイツ)、ザルツブルグの山腹の岩盤を掘り込んだ 6 階建ての大地下駐車場(オーストリア)等々、新しい大規模公共事業プロジェクトに懸命に取り組んでいる。

昨今の自然災害や笹子トンネル天井板落下事故等をきっかけに、防災(国土の強靱化)や維持更新についてはマスコミも好意的になってきたが、経済の発展に資する、或いは美しい都市・地域を形成するための新たなインフラ整備(公共事業)には必ずしも理解が十分ではない。しかし我々土木関係者こそ、欧米が新規の骨太な社会資本整備に積極的に取り組んでいる実態を適切に国民に伝えるとともに、地方の活性化、国際競争力の強化等日本を元気にする新しいプロジェクトを積極的に提言していくべきではないだろうか。そこは、「サードセクター」として市民・住民の利益に軸足を置く NPO が適している。また NPO の中でも、建設系 NPO は、公共事業を熟知しており、自治体の抱える諸問題に、最も幅広く対応できる。我々は、そんな能力をもっと活かして「地域への貢献」を果たしてはどうか。

紙面の都合上、今回は表題に対する社会背景や必要性など「入り口論」を述べたが、機会を改めて、財源の確保を含めた参入方策を提案したい。

## 「柔道と土木技術者」



NPO法人 建設技術監査センター 代表理事 **五艘 章**  
 土木学会フェロー、特別上級技術者、技術士(建設)  
 元・武蔵工大柔道部主将・OB会会長(柔道5段)

リオオリンピックの日本選手の活躍は国民、特に少年達に大きな感動と夢を与えてくれた。活躍した選手には幼年期に両親の熱い愛情と親元を離れ、国内外のスポーツアカデミーに留学し良き指導者とライバルに巡り合った事が共通している。柔道復活の背景には、オリンピック直前に見つかった昭和39年東京オリンピックで「打倒ヘーシンク」に燃えた指導者の執念・魂が込められた日記がある。井上康生監督以下の全選手は之に刺激を受け、柔道完全復活を成遂げる。

ここに昭和15年の東京オリンピック誘致(戦争で中止)を実現した柔道の創始者・嘉納治五郎を紹介したい。嘉納の努力が実り現在200以上の国・地域が国際柔道連盟に加盟している。嘉納は教え子に「**柔道以外の分野で活躍する事**」を望み、以下の言葉を遺している。

1. 勝つにしても道に順って勝ち、負けるにしても道に順って負けなければならぬ。  
負けても道に順って負ければ、道に背いて勝ったより価値がある
2. 自他共栄 (じた きょうえい)
3. 力必達 (つとむれば かならず たつする)
4. 教育之事天下莫偉焉 一人徳教広加万人 一世化育遠及百世  
(世の中に教育ほど尊いものはない、一人の徳の教えは、広く万人に影響し、一代の教えが百代後の世まで及ぼす)

私事で恐縮ですが、私が土木技術者を目指した背景を説明したい。私の父は私の5歳の誕生日(昭和23年2月3日)に「先ず体を鍛えよ」の遺言を遺して極寒の樺太の気屯捕虜収容所で死去(享年33歳)した。祖父母・母の愛情の下、少年時代は故郷・富山の山河に遊び、柔剣道正課の富山高校に進む。柔道部と町道場の強者達と稽古の後、帰宅し食事の後はそのままダウンの3年間を過ごした。インターハイ予選に敗退するも、北信越高等学校柔道大会に選抜される。顧問は「優勝した新潟・明訓高校との延長戦、五艘2段が中林3段を大車で3本投げられるも審判が認めず、脇投げを返されて敗北。審判の不手際で負ける。富山高校は全国のトップレベルである。」と校史に記録を遺す。校長と顧問は「五艘は4年後の東京オリンピックに行ける。大学から勧誘が来ている。全校上げて応援する」と熱心な説得を受ける。もし之を受入れていればオリンピックに歴史をのこしたかもしれないと淡い夢を見ることも……。当時、富山県は黒四と有峰のダム建設工事の最盛期であり、新聞には連日「ハンニバル作戦でブルドーザーの立山越」、「大町トンネル・破砕帯突破」等の記事が紙面に踊る。新島譲の「後世への最大遺物」に刺激を受け、土木技術者と柔道の選択に悩む。兄に相談すると「**柔道は現役時代の戦績が全てである。純粋な人生を送るには土木技術者が良い**」と。これが土木を選んだ最大の理由である。

武蔵工業大学土木工学科を卒業後、前田建設に奉職して33年間、人命、利益、工期、信用の全責任を担い様々な土木工事を担当する。建設省北千葉第一機場建設工事で昭和59年度労働大臣優良賞を授賞し、東京湾横断道路の建設に関わった事が誇りである。退職後はNPO法人建設技術監査センターを創設し若い土木技術者の教育と工事監査等の公益貢献に携わっている。柔道を勧めた亡き兄(享年62歳、中学校長、武道25段)の心の指導に深く感謝している。

CNCPには「**青少年が土木に憧れる優れた教育活動を展開する事**」を心から願っている。

NPO 法人社会基盤の超長寿命化を考える日本会議(LIME Japan) 第 11 回啓発セミナー  
「国民の信頼を得ながらインフラの維持管路・更新をどう図るか」を共催

常務理事 有岡 正樹

去る 7 月 20 日(水)に四谷のスクワール麹町で開催された標記のセミナーには、講演者及びパネリストとして CNCP から山本代表理事他 3 名が参加したこともあって、共催者として意見を述べる機会を得た。その内容は LIME Japan の HP に近々アーカイブ化されるので、本稿では以下その概要を紹介しておきたい。



第一部：ミニ講演

①土木全体の視点で：インフラメンテを考える三つの視点

山本 卓朗 氏 (NPO 法人 CNCP 代表理事・元土木学会会長)

高度成長を経て空白の 20 年と称されるなかで、土木と市民感覚とのズレを再認識して市民工学への回帰を提唱し、社会インフラについても、1)設計者から見た一個々の構造物、2)事業者から見た一事業施設全体、そして 3)市民から見た一社会の安全・安心(いのち)の三つの視点で物事を考えるに当たり、それぞれ自分自身が市民としてあることを理解し、あるべき姿、出来ること出来ないことを主観的に見る必要性を提起した。

②インフラ管理の視点：メンテナンスからマネジメントへ～動き出した ISO55001～

小林 潔司 氏 (京都大学経営管理大学院教授)

インフラ管理について日本と世界のズレに視点をおいて、ISO55000 の適用を含め日本のアセットマネジメントは世界標準から一周遅れであることに触れた上で、トップダウンで動くマネジメント(欧米型)とボトムアップで動くマネジメント(日本型)との違いを克服したロジックモデルの構築が必要であることを説いた。PDCA の CA をモニタリングデータ化し、現場主義に基づくマネジメントの対象をモデル化することが求められる。

③市民社会と協働の視点：「新しい市民社会」を拓く参加と協働のデザイン

世古 一穂 氏 (NPO 法人 NPO 研修・情報センター代表理事)

変貌する社会的、経済的課題を背景に、様々な事象が参加協働型社会へパラダイムシフトしていく中で、「新しい公共」を創りだすにも市民・行政・企業・NPO のパートナーシップが強く求められる時代認識が必要である。本 CNCP 通信 23 号で記載されている「市民参加と協働のデザイン」について、気仙沼の防潮堤問題での実践事例(同 22 号)を用いて紹介された。

④水道事業専門家の視点：いのちの水は大丈夫か？

山田 雅雄 氏 (元名古屋市副市長)

市町村運営が原則の水道事業は、厳しい財政・経営と職員の削減、水道技術保持の困難さや人口減少問題など多くの問題や課題を抱える状況下で、水道施設を改築更新しなければならない現実を踏まえて、古い施設を単純に新しいものに取り替えるのではなく、刻一刻と変わる状況に対していかに命の水を不断・低廉・良質に提供するのか、という水道事業者の恒常的な取り組みである。

## 第二部：パネルディスカッション（最後の一言とキーワード）

### 世古一穂【協働コーディネーターによる市民社会の力量形成とインフラメンテの社会実験】

知人の女性 20 人に「インフラ」という言葉を知っているかと聞いてみたが、2 人しか知らなかった。それが市民の現実である。橋や鉄道というとさすがに知っているが、それは誰かに造ってもらったものであり、自分がそれに関わって何かをする主体という考え方は全くない。市民の参加を手放して放っておいてはダメで、それには参加と協働のコーディネートが必要であり、そうした能力を身に付けたコーディネーターと共に市民に信頼されるインフラメンテのあり方に対する社会実験が重要となる。

### 山本卓朗【家に帰れば一市民】

情報の出し方に工夫が足りない。例えば東日本大震災の際の自衛隊の広報の出し方と土木の広報との間に大きな落差があった。自衛隊の活動は大きく報道されるのに、土木分野で、地元の建設業ががれきの中を道路啓開に全力を尽くしたことなどは、ほとんど報道されなかった。そのことが反省点になって、最近になり土木学会に広報センターが立ち上げられその機能を強化しようとしている。市民との協働を得るためにも広報活動を、市民との情報共有を意図して展開していくという役割が必要である。

### 小林潔司【マネジメントを中心にしてこの国を動かす】

中山間地のインフラ問題も全国一律にしては語れない。地域ごとの複雑な状況がある。例えば西日本の中山間地は平均年齢が若返ってきているが、人口は少ないままである。インフラが使えなくなる前に集落が亡くなるというところもあろう。本当に何が問題であるかは、現地に飛び込んでその状況を把握し、現地の人と一緒に解(マネジメントの仕方)を探した上でないと語れないというケースが多い。

### 山田雅雄【たゆまぬ脱皮】

事業者としての使命感の欠如により、組織が保守的というか改革に対して後ろ向きになりがちである。下水道の事例であるが、その水質浄化の状況を行政、市民それぞれ分析して、そのデータを持ち寄っての報告会が半年に 1 回ある。その中で住民から提案が出るが、そうした場での提案となると無視できないということになる。結果として効果があると行政の施策として実際にやることになる。厳しい枠組みの中でもチャレンジできるのが社会実験であり、市民との協働の一例とっている。

### 有岡正樹【55 : 45 からの Win-Win】

CNCP による自治体インフラメンテの地域住民の関わり方について、同じ研究会のメンバーである世古会員による気仙沼で適用にヒントを得て、受益者の最前線としての住民によるワークショップから初めて、その輪を住民組織の上位との協議や、行政側（授益者）との交渉、合意形成に発展させていく仕組みづくりに、社会実験としてチャレンジしてみたいと考えている。

### 齋藤宏泰【結びに代えて】

非常に難しい課題でのセミナーとパネルディスカッションだったが、昔サントリーの佐治敬三さんから教わった、“大阪商人というのは目先のそろばんをはじいていない。50 年、100 年先のことを考えている。自分の目の黒いうちにすべて解決しようというのはダメだ” との言葉を思い出していた。一石を投じるということを含めて長期的な視点で市民社会と向き合いながら、いいインフラメンテを次世代に引き継げればと考えている。

## ◆ 会員紹介 32 □ NPO法人・いきいき 35

- 設 立： 平成 21 年 8 月に設立
- 設立目的： シニア土木技術者の社会貢献
- メンバー： シニア土木技術者を中心としたメンバーで構成  
平成 28 年 7 月 会員数 17 名
- 変更事項： 1. 理事長の交代、理事長 福富 薫 氏から新理事長 石村 和寿 氏へ  
福富氏には設立から 7 年間、初代理事長として法人をここまでにして頂き感謝するとともにこれからも、理事として協力していただく。  
石村氏は設立当初より副理事長の立場で理事長をサポートしてきたが、理事長として、中長期の視点で先頭に立ち頑張ってもらえると考えている。  
2. 主たる事務所を宇部市内から山口市内へ変更  
3. 会員数が 1 名増員し 17 名
- 活動紹介： 1. 環境活動を 6~8 回/年行い社会貢献へのモチベーションを保っている。  
2. 事業活動について、「シニア土木技術者に何ができるか」検討小委員会をつくり意見交換をしている。  
3. 同様な活動を行っている NPO 法人へヒヤリング。  
4. 行政機関と 4 回/年程度の協議を行う。
- 課 題： 1. 設立目的と同じ志の会員を集めること。  
2. 行政機関に NPO 法人を活用する前例が少なく、認知していただくための PR が必要である。  
3. 自助、共助、公助の精神をもとに「新しい公共」としての役割を果たすための具体策について行政機関との定期的な協議をもとに受託内容を精査していく。
- おわりに： NPO 法人いきいき 35 は会員の志で草の根的に立ち上がった法人で目標達成に時間がかかることは覚悟している。同様の志を持つ NPO 法人が多く設立されればと考えている。  
今後 CNCP からの情報も参考にし、新しい事業活動を展開したい。



### 特定非営利活動法人 いきいき 35

〒754-0897 山口県山口市嘉川 4572 番地 11

e-mail: minamoto3734@yahoo.co.jp

理事長 石村 和寿 事務局長 皆本 義典

## 「共創プラットフォーム事業化研究会」終了報告

常務理事・事業化推進部門担当 辻田 満

「共創プラットフォーム事業化研究会」は2014年10月NPO法人シビルNPO連携プラットフォーム(CNCP)をプラットフォームとして立ちあげられた研究会です。担当責任者は、本研究会を提案したCNCP会員のNPO法人シビルサポートネットワークで、建設産業では初のNPOをプラットフォームとした新規事業の創設をめざすものです。当初、本研究会(フェーズⅠ)は企業の埋蔵知財の事業化の可能性を検討しましたが、やはり埋蔵知財からだけでは新規事業の立ち上げは難しいとの結論に至りました。

そこで、今年度(フェーズⅡ)は「事業化のコツおよび手法を学ぶと共に具体的な事業計画書の作成を試みる」を取り組みの目標として活動することになり、昨年10月～今年7月に亘って研究会活動をして参りました。主な取り組みは下記の通りです。

### (1) 共有価値の創造(CSV)の学習

注：企業のCSRを更に進化させ、社会問題の解決と企業利益の創出の両立が企業の新たなビジネス機会をもたらすものとしてCSVが定義されています。

### (2) インフラ維持・更新における社会的課題の検討

### (3) セオリーオブチェンジの学習

注：事業化のアプローチを大別すると①既存のやり方で社会的課題を解決する②今までになかったアイデアで社会的課題を解決する③考え方そのものを変えていく。セオリーオブチェンジとは③の取り組みです。具体的な事例を示すと、ホームレスの自立支援として始まった「ビッグイシュー」(The Big Issue)です。単にホームレスにお金で支援するのではなく雑誌を作り、ホームレスがそれを路上で販売する。それによって彼らは収入を得るという好循環を作り出すモデルです。

### (4) 革新的なビジネスモデルを検討

### (5) ビジネスモデルに関わる関連知財の調査

### (6) ビジネスモデルに基づいた具体的な事業計画書の作成

### (7) 異業種との事業化に関する意見交換会

フェーズⅠ・フェーズⅡの2カ年に亘って中央大学のビジネススクール露木教授に研究のご指導を頂きました。(1)共有価値の創造(CSV)の学習では我が国では先駆的に取り組んでいる野村総研究所の西尾紀一氏を講師にお招きしました。(3)セオリーオブチェンジの学習では遠路神戸から実績のあるNPO法人しゃらくの小嶋新氏を講師にお招きしました。

(4)革新的なビジネスモデルを作成するに当たってはアイ・エス・エスグループ代表の中村裕司氏を講師としてお招きしてご指導を頂きました。また、(7)異業種との事業化に関する意見交換会では露木先生の取り計らいで大学教員、経営コンサルタント、ベンチャー起業家、ビジネススクールのOB、学生など7名の方々と貴重な意見交換が出来ました。

研究会メンバーは企業の要職の方ばかりでしたが全員がほとんど皆勤に近い出席でした。本研究会の初期の目的であった埋蔵知財の事業化の取り組みには至りませんでした。参加メンバーの総括を拝見すると本研究会は今後の各企業が取り組む脱請負の中で新規事業の組み立てに役立てる知見と人脈が得られたものと確信しております。

## 「CNCP アワード2016」の受賞者決定！

社会的課題の解決を図るための、シビル分野における優れた事業を顕在化・称賛し、広く周知させることによって、シビル分野でのソーシャルビジネスの普及を目的とした公開型「CNCP アワード 2016」の受賞者を下記のとおり決定しました。10月31日（月）に開催される総会の後、表彰式と受賞者によるプレゼンテーションを行います。なお、受賞者には表彰状と副賞を授与いたします。



事業化推進部門  
ワーキングリーダー  
三上靖彦

### CNCP アワード 2016 受賞者

#### ☆ベスト・プラクティス部門

\*優れたソーシャルビジネスを展開している事業を対象に表彰。応募 12 件の中から以下の事業に決定しました。

##### 【最優秀賞】

事業名：土のう工法の普及活動を通じた未舗装道路整備のインクルーシブビジネス化  
団体名：NPO 法人 道普請人（みちぶしんびと）

##### 【優秀賞】

事業名：東日本大震災 宮城県東松島市あおい地区における防災集団移転等の支援活動  
団体名：NPO 法人 都市住宅とまちづくり研究会

#### ☆ベスト・アイデア部門

\*優れたソーシャルビジネスとしての事業企画を対象に表彰。応募 8 件の中から、以下の事業に決定しました。

##### 【最優秀賞】

事業名：地方自治体のインフラの維持管理を支援する有限責任事業組合  
団体名：NPO 法人 シビルサポートネットワーク

##### 【優秀賞】

該当なし

### CNCP アワード 2016 募集・選考経過

\*講評内容はホームページをご覧ください。

- 応募受付期間／2016年4月1日（金）～5月31日（火）
- 選定／7月7日（木）の選定委員会（委員長 谷本寛治・早稲田大学教授、委員 4 名）で審査、委員会決定  
8月23日（火）の理事会で委員会決定を了承、最終決定
- 公表／8月24日（水）に受賞者への結果通知と表彰式の案内、プレス発表
- 今後の予定／、10月31日（月）に表彰式及びプレゼンテーション

日本初の建設系 NPO 専門 クラウドソーシング

# 『シビル・マッチ』

<http://civil-match.org/>



クラウドソーシングとは、インターネット上で  
委託者と受注者をつなぐ新しい形の働き方を実現するシステムです。

シビルマッチの登録はお済でしょうか？ 法人正会員、個人正会員、賛助会員の全ての会員にご登録をお願いしております。  
下記のトップ画面からまずはメールアドレスをご登録頂ければOKです。CNCP 会員の皆様の登録手続きをお願いします。

シビル マッチ  
**CIVIL MATCH**

プロジェクト

[メンバーの会員登録](#) [クライアント登録](#) [ログイン](#)

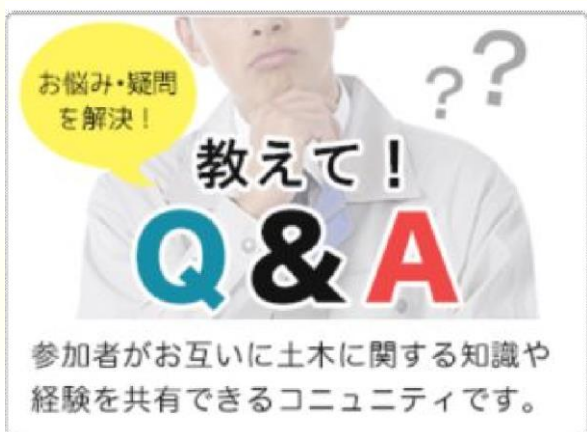
プロジェクト方式案件    クライアント検索    メンバー検索    お問い合わせ

---

**メールアドレス仮登録**

入力したメールアドレスに仮登録完了メールが送られます。  
届いたメールに記載のURLをクリックして、開いた画面で本登録に必要な情報を入力して下さい。

メールアドレス	<input style="width: 90%;" type="text"/> <small>受信可能なメールアドレスを入力して下さい。</small>
---------	--



お悩み・疑問を解決！  
**教えて！**  
**Q & A**

参加者がお互いに土木に関する知識や経験を共有できるコミュニティです。

**Q&A サイト公開中！**

CNCP ではマッチングサイト「シビル・マッチ」(<http://www.civil-match.org/>) に「Q&A サイト」を公開中です。「〇〇〇について相談です。」「〇〇〇についての情報提供です。」「〇〇〇について教えてください。」等・・・何でもお気軽にこの「Q&A サイト」をお使いください。このサイトはどなたでも自由にお使いいただけます。

《お問合せ先》 NPO法人 シビルNPO連携プラットフォーム 担当: 内藤 E-mail: [civil@civil-match.org](mailto:civil@civil-match.org)



## 平成 28 年度通常総会・CNCP アワード表彰式のご案内

下記の通り平成 28 年度通常総会ならびに CNCP アワード表彰式を開催いたします。ご多忙とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席いただきますようご案内申し上げます。

■ 日 時 平成 28 年 10 月 31 日 (月) 13:30~18:00

■ 場 所 土木学会講堂

〒160-0004 東京都新宿区四谷 1 丁目 (外濠公園内) TEL03-3355-3441

### ■ プログラム

13:30~15:00 総会

15:30~16:45 CNCP アワード表彰式・プレゼンテーション

17:00~18:00 懇親会 (会費 1,000 円)

## 事務局通信

### 1. 9月の会議予定

- ・ 9月6日(火) 14:00~16:00: マッチングサイ打合せ
- ・ 9月7日(水) 16:00~17:30: アワード WG
- ・ 9月13日(火) 10:00~12:00: インフメンテ事業化研究会
- ・ 9月13日(火) 15:00~17:00: 運営会議
- ・ 9月15日(木) 13:00~16:00: 教育研修委員会
- ・ 9月16日(金) 13:00~15:00: シンクタンクチーム

### 2. 9月1日現在の会員数

法人正会員 19、個人正会員 24、法人賛助会員 34 合計 77

事務局

お問い合わせは  
こちらまで

### 特定非営利活動法人

### シビル NPO 連携プラットフォーム

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目 13 番地 7  
名古屋ビル本館 2 階 コム・ブレイン内

事務局長 内藤 堅一: [info@npo-cncp.org](mailto:info@npo-cncp.org)

ホームページ URL: <http://npo-cncp.org/>